

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大山商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①		目標②		得られた効果	総合評価	A	実施側の評価	A B C D 評価				目標①	目標②		
				目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					自己評価	調査結果					満足度	必要性
巡回・窓口相談指導事業	市内の大半を占める小規模事業者の経営基盤の強化安定を図るため、各種相談、講習会等の経営情報提供を行うとともに、未指導企業の巡回を積極的に実施し、意欲と可能性のある企業の経営改善を支援することにより、商工業の活性化を目指す。	・巡回窓口指導案件数672社・巡回窓口延件数2,291社（経営指導員3人＋補助員2人）・課題解決提案数51件（経営指導員3人）・経営革新承認件数9件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 217.0 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 170.0 %)	小規模事業者に対して各種施策普及や経営改善指導を行うことにより、企業の経営力強化につながり、経営の安定が見込まれる。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 B	満足度 A 補足 B	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	小規模事業者のきめ細かい相談指導を行うため及び経営計画書策定支援につなげる。	○			
記帳継続指導事業	経営改善普及事業に一环として、小規模事業者の自主記帳体制を支援するため、記帳担当者の指導により、日々の記帳から決算確定申告まで一貫した指導を実施し、記帳を通じて、事業主等が経営内容を把握し、経営改善することにつなげる。	・指導対象者数77人 ・指導延日数369日 ・指導延回数1,044回	小規模事業者	指標 指導延回数 (達成度 111.5 %)	指標 指導対象者数 (達成度 98.7 %)	小規模事業者に対して記帳指導を行うことにより、計数的に企業の経営内容を把握し、経営力強化につながり、経営の安定が見込まれる。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	十分、記帳能力がついた事業所について、卒業を促す。新規に記帳対象者を募集する。				
講習会開催事業	地区内の小規模事業者に対して、経営改善に必要な個別講習事業及び集団講習事業を行い、経営の資質向上につなげる。	講習会開催回数及び受講者数 集団参加人数1回2人（経営革新セミナー） 個別22回128人＋市補助個別相談7回107人 計235人	小規模事業者	指標 集団講習会 (達成度 16.7 %)	指標 個別講習会 (達成度 154.6 %)	環境・人材育成・経済問題などのセミナーを通して、各企業の経営体質改善につながった。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	法改正の普及等受講者の増加を目指す内容を検討する。				
若手後継者育成事業	将来の地元経済を担っていく若手経営者、後継者や女性経営者等の資質向上を目指して育成支援を行い、地域の振興活性化につなげる。	青年部事業参加者数280人（内若手後継者育成事業25人）、女性会事業参加者数0人（内若手後継者等育成事業0人）（事業中止）	小規模事業者	指標 青年部事業参加者数 (達成度 44.9 %)	指標 女性会事業参加者数 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症により事業縮小を余儀なくされた。経営に関する研修や会員間の交流、他団体との交流を通じての情報交換により、経営革新やビジネスの拡大につながった。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	資質向上研修の内容を充実させるとともに、受講者数を増加させる。女性会事業については、新型コロナウイルス感染症に配慮し、事業の効率化を図る。				
観光振興事業	当地域は、地元を代表する特産品や名物料理がなく、地域の地元食材を使った特産品や地元グルメ料理を開発する。また、大山の名物と呼べる商品を推奨し、地域の活性化と観光振興につなげる。	・実行委員会参加者数14人 ・大山ドック取扱店数14店 ・その他事業「桃太郎、いざ出発!!」（大山市内の小中学校に桃太郎人形を巡回展示）14校＋図書館への展示	小規模事業者	指標 事業参加者数 (達成度 34.4 %)	指標 (達成度 %)	大山ドッグの定義づけ、基本仕様（米粉100%仕様、グリテンフリー）を確認、当地域でとれる米粉パンの開発を図った。	総合評価	C	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 C 必要性 B	満足度 C 補足 B	目標① 廃止 実施方法① 廃止	目標② 実施方法②	事業執行体制の見直しにより総務課に移行	○			
商談会事業	各種の商談会やビジネスマッチング事業へ積極的に参加して、企業交流の場を提供することにより、新たなビジネスパートナーの発掘をし、ビジネスチャンスの拡大を目指す。	商談会等ビジネスマッチング事業参加事業所数 尾張地区商談会0件（事業中止） アライアンスパートナー発掘5件、メッセージ0件（事業中止） 多治見ビジネスマッチング0件（事業中止） ビジネスフェア0件（事業中止）	中小・小規模事業者	指標 事業参加者数 (達成度 23.8 %)	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症によりアライアンスパートナーのみの実施。新たなビジネスパートナーを発掘し面談することにより、企業PR、新企業との取引開始、共同研究、新分野進出につながった。	総合評価	B	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 B 必要性 A	満足度 B 補足 A	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	今後も各商談会のフォローアップまで行う。				
地域振興事業	商店街や個店が衰退していくなか、地域の特長を生かした活性化を図るべく、国・県・市等の補助事業を活用し、各地の事業者が中心となって地元住民と一緒に地域を活性化させる取り組みを支援する。	事業参加者数 羽黒げんき事業0人（事業中止） 栗栖・継鹿尾を元気にする会事業0人	小規模事業者	指標 事業参加者数 (達成度 - %)	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症によりすべて中止。	総合評価	-	実施側の評価	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 - 必要性 -	満足度 - 補足 -	目標① 下げる 実施方法① 変更する	目標② 実施方法②	今後も自主運営に向けての指導を継続する。栗栖・継鹿尾を元気にする会事業は廃止する。	○			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 犬山商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①
部会・委員会事業	中小・小規模事業者の商工業者の活性化のために、業種ごとの部会で、その部会長が営んでいる事業の改善発達と部会員相互の連携協力につながる事業を実施することにより、商工業の活性化に寄与する。	事業参加者数及び会議参加者数 部会事業等参加者数13人（商業0人、工業0人、建設業0人、サービス業13人、理財金融業0人） 委員会事業等参加者数96人（中小企業0人、街づくり0人、地域開発0人、国際9人、小規模企業振興委員会87人）	中小・小規模事業者	指標	部会事業等参加者数 (達成度 1.6 %)	指標	委員会事業等参加者数 (達成度 14.0 %)	得られた効果	新型コロナウイルス感染症により大部分中止。サービス部会のおうちでごはんプロジェクトは好評で、コロナ禍において飲食業者の知名度と売上向上につながった。その他会議、講演会、懇談会、視察研修会、PR事業を行うことにより、商工業の活性化につながった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も参加者の増加を目指す内容の企画立案をする。目標を各会開催回数に変更する。
産業団体等指導事業	商業団体から事務委託を受けて、それぞれの団体と連携を取って商工業者等の活性化のための事業や運営の支援を行う。また、犬山まちづくり(株)の支援を行う。	事業参加者数及び会議等参加者数 犬山ニュータウン商店街0人 犬山PHP経営を考える会59人 犬山まちづくり(株)支援回数22回 青年部08会11人 小牧法人会犬山支部支援回数138回	小規模事業者	指標	事業及び会議参加者数 (達成度 37.1 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	新型コロナウイルス感染症により、各団体の事業が多数中止となった。会議所と各委託団体との連携強化と各団体会員への経営改善普及事業のPRができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	各団体が行う総会等へ会議所が行う経営改善普及事業のパンフレット等を配布し、施策の浸透を深める。
人材確保事業	他商工会議所や近隣の大学等と連携して、中小企業の人材確保を目的に市内小規模事業者等の支援を行う。	就職フェア（中部大学0社、名古屋経済大学0社、尾張5市商工会議所2回6社）	中小・小規模事業者	指標	事業及び会議参加者数 (達成度 28.6 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	若年求職者の職業選択や就職に関する知識・能力の向上及び企業の人材確保につながった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の人材確保につなげるため、求職者の参加者数の増加を図る。目標を事業実施回数に変更する。
経営発達支援事業	自立的経営ができる小規模事業者の育成、地域経済を支え得る小規模事業者の数の増加、交流人口の増加を背景とした消費需要の拡大、小規模事業に対するカスタムメイド支援体制の構築	計画作成を促進するためのセミナー動画撮影と配信（64人）、創業セミナー（14人）、経営分析支援事業「わん！ストッ、丸っと解決相談所」（115人）、支援計画評価委員会（5人）	小規模事業者	指標	事業及び会議参加者数 (達成度 110.0 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	コロナ禍において小規模事業者の経営計画書を策定するに当たり、経営計画策定セミナーや専門家による個別相談を実施したことにより、経営計画に基づく計画的な経営ができ、売上・付加価値の増加、現状維持につながったと思われる。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	支援に繋がるセミナーを開催し受講者から経営計画書策定事業者を絞り込み、経営計画書策定につなげる。その後フォローアップを充実させ経営力強化につなげる。目標を「講習会延回数」、「支出向上事業実施回数」に変更する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。